

「平成22年度初任給等実態調査」結果報告書

平成22年12月
岡崎商工会議所

調査対象	対象企業数 市内主要事業所 320社
集計対象	有効回答の155社(回答率48.4%)
調査時期	平成22年11月
調査方法	郵送によるアンケート方式
その他	集計にあたっては、全て単純平均にて算出した。

< 概要 >

1. 初任給

【確定初任給】

大学卒「事務・販売」195,669円、「技術・生産」197,230円、業態別の金額差では「技術・生産」の短大卒が11,607円の差

平成22年3月学卒者の確定初任給を全業種で見ると、大学卒では「事務・販売」が195,669円、「技術・生産」が197,230円、短大卒では「事務・販売」が176,969円、「技術・生産」が181,153円、また高校卒では「事務・販売」が165,242円、「技術・生産」が164,552円となっており、大学卒と短大卒では「技術・生産」が、高校卒では「事務・販売」が上回る結果となった。

業態別で見ると、「事務・販売」「技術・生産」とともに、全ての学歴で非製造業が製造業を上回っており、特に「技術・生産」の短大卒では11,607円(製造業<非製造業)の差がみられた。

【見込初任給】

全体として前年金額を据え置く傾向

一方、平成23年3月学卒者の見込み初任給を全業種で見ると、「事務・販売」「技術・生産」とともに大卒は増加傾向、短大卒と高校卒では減額傾向にあり、大学卒では「事務・販売」が195,792円、「技術・生産」が197,231円、短大卒では「事務・販売」が173,006円、「技術・生産」が177,223円、また高校卒では「事務・販売」が162,844円、「技術・生産」が163,006円となった。

業態別では、「事務・販売」は、短大卒以外は非製造業が製造業を上回り、「技術・生産」では大卒以外の学歴で非製造業が製造業を上回った。業態間の金額の差においては、特に「事務・販売」では、大学卒で2,812円(製造業<非製造業)、「技術・生産」の短大卒で6,928円(製造業<非製造業)の差がみられた。

全体として、企業規模・業種によって確定金額のばらつきはあるが、ほとんどの事業所が前年金額を据え置く結果となった。

〔 1 - 1 表 〕 初任給額(全業種)

	事務・販売従事			技術・生産従事		
	大学卒	短大卒	高校卒	大学卒	短大卒	高校卒
平成 2 2 年の 確定初任給	195,669 円	176,969 円	165,242 円	197,230 円	181,153 円	164,552 円
平成 2 3 年の 見込初任給	195,792 円	173,006 円	162,844 円	197,231 円	177,223 円	163,006 円

〔 1 - 2 表 〕 初任給額(製造業)

	事務・販売従事			技術・生産従事		
	大学卒	短大卒	高校卒	大学卒	短大卒	高校卒
平成 2 2 年の 確定初任給	193,378 円	172,217 円	162,732 円	194,952 円	172,960 円	161,210 円
平成 2 3 年の 見込初任給	194,429 円	173,725 円	162,336 円	198,436 円	172,960 円	161,320 円

〔 1 - 3 表 〕 初任給額(非製造業)

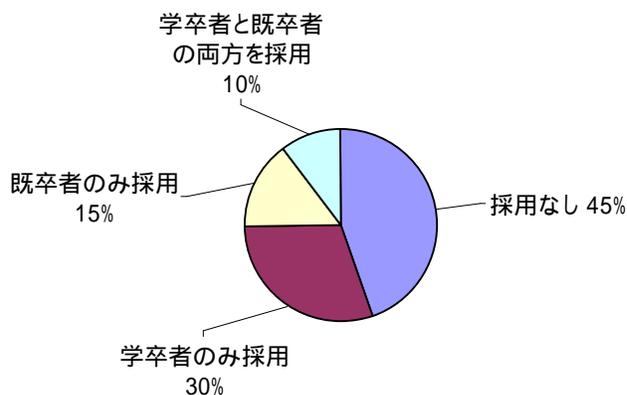
	事務・販売従事			技術・生産従事		
	大学卒	短大卒	高校卒	大学卒	短大卒	高校卒
平成 2 2 年の 確定初任給	196,815 円	179,820 円	166,796 円	199,374 円	184,567 円	169,804 円
平成 2 3 年の 見込初任給	197,241 円	172,367 円	163,520 円	196,027 円	179,888 円	166,378 円

2 . 従業員の採用について

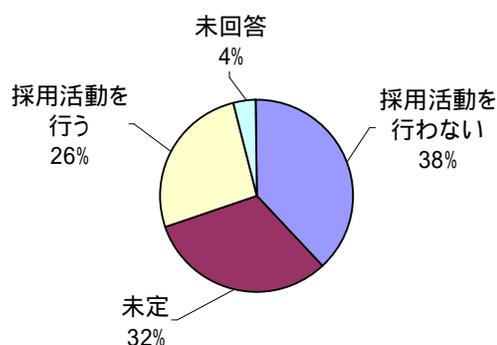
半数近くの事業所で 2 2 年 4 月以降、正社員の採用なし

2 2 年 4 月以降に入社の正社員の採用状況の結果は、「採用なし」が 4 5 %、「学卒者のみ採用」が 3 0 %、「既卒者のみ採用」が 1 5 %、「学卒者と既卒者の両方を採用」が 1 0 %であった。半数近くの事業所で 2 2 年 4 月以降の正社員の採用が行われていないという結果となった。また、〔 2 - 2 表 〕の結果を見ると、今後（ 2 4 年春学卒者）の採用活動については、「採用活動を行わない」が 3 8 %、次いで「未定」が 3 2 %と高く、反対に「採用活動を行う」が 2 6 %と低く、依然厳しい雇用情勢を反映する結果となった。

〔 2 - 1 表 〕 2 2 年 4 月 以 降 採 用 の 正 社 員 の 採 用 状 況



〔 2 - 2 表 〕 今 後 (2 4 年 春 学 卒 者) の 採 用 活 動 に つ い て

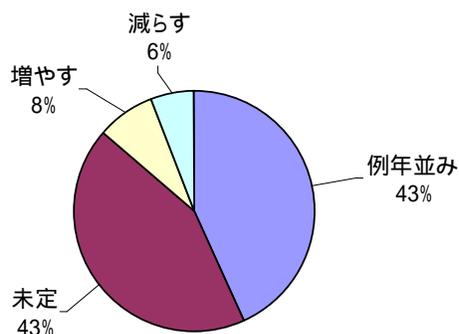


今後の採用人数は「例年並み」が約 4 割

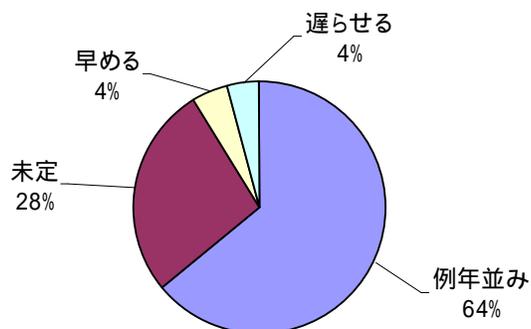
2 4 年 春 学 卒 者 の 採 用 計 画 に つ い て は 、 前 年 と 比 較 し 採 用 人 数 は 、 「 例 年 並 み 」 「 未 定 」 が それ ぞ れ 4 3 % 、 「 減 ら す 」 が 6 % と な っ て お り 、 「 増 や す 」 と 回 答 し た 事 業 所 は わ ず か 8 % と 引 き 続 き 各 社 採 用 を 控 え る 傾 向 が 続 く も の と 思 わ れ る 。

ま た 、 採 用 時 期 に つ い て は 、 「 例 年 並 み 」 が 6 4 % 、 「 未 定 」 が 2 8 % 、 「 早 め る 」 「 遅 ら せ る 」 が それ ぞ れ 4 % と な っ て お り 、 前 年 と ほ ぼ 同 じ 時 期 に 採 用 活 動 を 行 う 予 定 の 事 業 所 が 半 数 以 上 を 占 め た 。

〔 2 - 3 表 〕 具 体 的 な 採 用 計 画 に つ い て (採 用 人 数)



〔 2 - 4 表 〕 具体的な採用計画について（採用時期）



「現状の従業員で対応できる」と回答した事業所が大半

採用活動を行わないと回答した事業所に対し、その理由を調査したところ「現状の従業員で対応できるため」と回答した事業所がもっとも多く48事業所、次いで「景気の先行きが不透明のため」と回答したのが30事業所、「既卒者のみ採用のため」が6事業所、「取引先の業績悪化により事業を縮小したため」が5事業所という結果であった。

〔 2 - 5 表 〕 採用活動を行わない理由について〔複数回答可〕

